



ハリストスよ、我等、爾の苦しみに伏拝す



ハリストス、復活！ 実に復活！



仙台正教会
教会だより

2025年
4月号

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四一〇〇
 TEL(0)22-225-1274
 FAX(0)22-241-3080
<http://www.sendai-orthodox.jp>
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

仙台ハリストス正教会

受難週のご案内

4月14(月)15(火)16(水)9:00~

早課・先備聖体礼儀

4月17日(木)17:00~十二福音

4月18日(金)15:00~晩課(主の葬り)

17:00~早課(十字行)

※ 主の死と葬りの祈禱に是非ご参拝下さい

4月19日(土)9:00~

晩課・聖大ワシリイ聖体礼儀

復活祭のご案内

今年の復活祭は、以下のように
深夜に行う予定です。

4月19日(土)22:30~痛悔機密

23:30~夜半課・

(十字行)早課・一時課・聖体礼儀

祈禱後、会館で休息(軽食)

※ 20日(日)の朝の祈禱はありません

「死者の復活について」ダマスコの聖イオアン「正教信仰解説」第27章

我々は、死者の復活を信じる。それは真実となり、死者は復活するだろう。復活とは、体の復活を意味する。復活とは、墮落した我々の第二の状態である。霊魂は不死である。では、それら(体)はどうやって復活するのだろうか？もし、死を霊魂と体の分離として定義するならば、復活とは、確かに霊魂と体の再統合であり、分解と墮落を被った生ける被造物の第二の状態である。

この肉体、腐敗し分解しやすいこの体が朽ちないものへと再び興されるであろう。創造主の審判の啓示によれば、最初に地の塵で造られた人間は、分解され取られた所の地に戻った後、それを再び興す力を欠いていない。

…中略…神はまたモイセイに言っている。「私はアウラムの神、イサアクの神、イアコフの神である」。すなわち神は死んだ者(死んでしまってもはや存在しない者)の神ではなく、生きた者の神である。霊魂は、実に神の手の中で生きているのである。しかし、肉体は、再び復活をとおして生命へとやって来る。神聖な王ダヴィドは神に言う、「爾が気を取り上げれば彼等は死し塵に帰る」「爾、気を施せば、彼等は造られ、爾、地の面を新たにす」…中略…

しかし、ある者は言うだろう、どうやって死者が復活するのか？と。ああ、なんと不信仰なことか！ああ、なんと愚かなことか！土を体へと変える唯一のお方、母の胎内で小さな落ちた種を成長するように命じるお方、そして、体の各

機能を形づくるお方は、それらを溶解して再び興すこともなさるのではなかろうか！…中略…種まかれたものは、死んでこそ成長するのである。つまり、すでに「完成された体」をまくのではなく、麦や穀物の「種」をまくのである。しかし、神は、思うように体を与える。それぞれの種は、固有の体を持つ。それ故、見よ、いかに種が墓に埋葬されるように畑に埋められるかを。誰が、根や茎や葉や実やその他の細部を与えたのか。宇宙の創造者ではないのか。すべてのものを支配するお方が、命じるのではないのか。それ故、賢くも信じよ。死者の復活も、神の意志としるしによって起きるということを。神はその意志なさったことを可能にする力をもっている。

我々は、それ故、復活する。我々の霊は、もう一度、我々の体と結合する。今は朽ちるが、朽ちないものに置かれる。そして、畏るべきハリストスの審判座の前に立つ。悪魔とその使いと反ハリストと不敬虔と罪深い人間には、消えざる火が与えられる。我々が知っているような物質の火ではなく、神が知っているような火が。しかし、善を行なった者は、太陽のような光に照らされる。天使と共に、永遠の生命に。我等の主イイスス・ハリストスと共に。つねにハリストスを見、ハリストスに見られ、ハリストスから来る絶え間ない喜びが分与される。

彼と父と聖神は崇め讃めらる、今もいつも世々に、アミン。(翻訳:D)



白河正教会だより



3月8日(土)と9日(日)にダヴィド水口神父が白河正教会を巡回し、大斎第一主日「正教勝利の主日」の徹夜祷および聖体礼儀が行われた。聖体礼儀につづいて春の総パニヒダも献じられ、白河正教会のすべての永眠者の記憶が行われた。

白河生神女進堂聖堂は建立からちようど百十年目を迎えるが、外壁の老朽化も見られ、特に基礎になっている石垣の表目の剥がれが目立ってきている。これを受けて、

今年中に修復工事が行われる計画であるが、文化財であるため県と市からの補助が出る予定である。それでも教会負担は大きいため、主教区に地域助成金を頼むこととなった。

中新田正教会だより



3月9日(日)に代式祈祷が行われ、祈祷後に、手持ちローソクの受け皿の作成が行われた。パニヒダなどの時、参拝者は手にそれぞれローソクを持つが、融けた蠟が手や床に落ちるのを防ぐ受け皿を作るため、厚めの紙に型を書いて切り取り、真ん中に切り込みを入れる作業を行った。約一五〇枚のストックが出来た。

都合により4月の中新田教会の代式祈祷は第二ではなく第一日曜日に行われる予定です。あしからずご了承ください。

4月6日(日) 10時より代式祈祷

祈祷後に奉仕作業の予定

図書案内

神による記憶と

死者のための祈り

著 佐崎 愛



月例パニヒダをテーマに日本正教会の歴史、信仰、実態などが描きだされている。

発行 春風社【お求めは書店やWebで】



消 息

・永眠

二月二十三日

リヤ・リリヤ・ヴァジエニナ姉(66歳)

永遠の記憶【白河正教会】



・永眠

三月一日

イオナ伊藤治男 兄(76歳)

永遠の記憶【仙台正教会】





教区・東北ブロック

宣教キャラバンの開催

ウエラ山中由美



三月十一日(火)、涌谷教会で東北ブロックの「宣教キャラバン」が開催され、東日本大震災永眠者を記憶するパニヒダが献じられました。東北の神品信徒三十名近くが参会しました。

マルコ小池神父様をご司祷され、ダヴィド水口神

父様、ルカ田畑神父様、ピーメン松島神父様が陪祷され、四人の司祭によって十一人の被災永眠者が記憶されました。

祈禱に続いて、ピーメン松島神父様が説教を行なわれ、「『死』よりも強いものはなかったがハリストスの復活によって『死』は力なきものになった。私たちは『復活』という希望をもつことが大切である」と説かれました。

その後、信徒会館で、水口神父様によってプロジェクターを使って、「聖三祝文について」の講演が行われました。

講演の後、参加者は茶菓をいただきながら自己紹介や近況報告を行い交流を深めました。

十四年前、大震災が発生した十四時四六分になると皆で黙祷し、再び永眠者の安息を祈り、復興に尽力した多くの人々への感謝の気持ちを新たにしました。

聖三祝文について

長司祭 ダヴィド 水口優明

聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者や、我等を憐れめよ。

由来について

聖体礼儀の中でも、そして普段の祈りの中でも必ず祈られる「聖三祝文」については、次のような由来がある。

聖プロクル総主教の時代に(447年)コンスタンチノーブルで大きな地震が起きた。地震は約四ヶ月にわたりに続き、

人々を不安に陥れた。

戦慄した人々は、総主教プロクルと共に災害からの救いを願い、十字行を行い祈っていた。地震がいよいよ

どくなつた時、なんと衆人の目の前で一人の少年が天に挙げられた。

人々が驚き恐れ「主、憐れめよ」と祈る中、地上に戻つて来た少年は、天では天使達が「聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者や」と歌つて、主・神を讃美していたと語った。全民衆はこれに「我等を憐れめよ」を付けて祈つた。すると地震はおさまつたという。しかし、天に昇つた少年は死んでしまつた。

このように地震の恐怖から人々を救つた奇跡的な出来事が「聖三祝文」の背景にある(正教会暦では10月7日(9月25日)が記念日)。

聖書の中の「聖三の歌」

天使たちが、「聖なる」という言葉を三回使つて神を讃美しているということ、すでに聖書の中に記載されている。一つは旧約の預言者イサイヤ(イザヤ)が聞いたもの。

「セラフイムは彼を環りて立てり、各々六つの翼あり、二つを以てその面を蔽い、二つを以てその足を蔽い、二つを以て飛び。相呼びて曰えり、『聖なる

哉、聖なる哉、聖なる哉、主サワオフ、其の光栄は全地に満つ』」(第6章)。このセラフイムの歌は聖体礼儀の中でそのまま歌われている。

もう一つは新約の黙示録の中で聖使徒イオアンが聞いたもの。

「四の生物は、各、周体に六の翼あり、内には目満ちたり、日夜、息わずして曰う、『聖なる哉、聖なる哉、聖なる哉、主神全能者、先に在りし、今在り、後に在らんとする者よ』」(第4章)。

三位一体の神への祈り

「神」とは「唯一、全能者」といった真実の神であること、「勇毅」とは何ものにも負けない「力、強さ」、「常生」とは「不死、永遠の存在」であることを示し、それぞれ、神・父、神・子、神・聖神に向けられている。しかし、三位一体の神である故、父も子も聖神も等しく「神」「勇毅」「常生」である。

聖三祝文の度に三度、十字を畫いて、至聖三者に心を向け、さまざまな怖れから救われるよう祈りたい。



4月聖名日 モレーベンのご案内

4月13日(日)聖体礼儀後

4月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



聖ハリサンブ



聖フォティナ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
4/1	ハリサンブ(聖致命者)	大立目謙直
4/1	ダリヤ(聖致命女)	小堀遥奈、山村清子
4/2	フォティナ(聖致命女)	佐藤千広、門間由紀子
4/14	マリヤ(エジプトの克肖女)	渡辺由香里
4/15	フェオドラ(パレスチナの聖致命女)	佐藤三千代
4/19	メフォディ(スラブの光照者聖使徒)	佐々木洋平
4/19	マトロナ(モスクワの福者)	土田みつ
4/29	ニカ(聖致命女)	勝又礼、今野舞亜
4/29	カリイサ(コリントの聖致命女)	菅原佳代子
4/29	テレジヤ(リジュー)	高橋早苗、高橋博美

復活祭後の墓地祈祷のご案内

4月28日(月)

■大パニヒダ 10時(聖堂)

・みやぎ霊園 10時50分頃

・葛岡霊園 11時30分頃

4月29日(火)

・北山霊園 10時30分頃

・いずみ墓園 11時40分頃

※右記以外で墓地祈祷をご希望の方は、
日程を調整して行いますので、ご遠慮なく水口神父までご連絡下さい。



ご協力お願いします

復活祭に関連するさまざまな作業を予定しています。一人でも奉仕者が増えると助かります。ご協力をお願いします。



4月6日(日) 聖堂清掃(祈祷後)

聖枝祭の枝の準備

4月18日(金) 復活祭の卵染め(12時)

白布アイロンがけ

4階の会食会場設営(16時)

執事会報告

令和7年3月5日(木)
14時〜15時30分 3階会議室

一、報告事項

○東北ブロック宣教会議

2月20日(木)に一関教会で開催。水口神父、山中姉が出席。教区行事の予定日が取り決められた。

信徒懇親会〓中新田教会担当

聖歌研修会〓10月18日(土) 仙台
11月8日(土) 盛岡

誦経奉仕者研修会〓9月23日(火) 金成

夏季修養会予定〓7月27日(日) 盛岡

宣教キャラバン〓8月14日(木) 盛岡

教区報〓6月3日に発送作業予定

○会計報告

進捗状況 予算比 定額献金72%、参

堂献金95%、臨時献金146%、教区分担金

は4月中には完納予定。

二、協議事項

(1)ホーチキ

・消火器全14本と蓄電池は3月中に交換

予定。

・定期保守点検契約が更新できないため

ホーチキと解約手続きを行った。

・新規を鹿島建設に相談したところ、二

社(中央理化学工業と能美防災)から見積もりが出た。比較した結果、「中央理化学工業」に依頼することにする。

(2)受難週・復活祭にむけて

・十字行については早めに人材を決めておく。

・交番と岡部歯科への挨拶(紅卵持参)は聖大金曜日に行う。

・復活祭の食事について内容は婦人会に一任する。

・4階の会場設営は、4月18日(金)晩課後(16時〜)から早課開始前までに行う。

三、その他

今年、戦後80年目ということで、戦前の教会の記録を見返したところ、教会の聖器物を守った防空壕を「福原金三郎」という篤職人がたった一人で掘ったことが分かった。この「福原金三郎」の子孫を探したい(水口神父談)。

復活大祭献金のお願い

今年も復活祭を迎えられることを感謝して、復活大祭献金をしましょう。献金袋と郵便振替用紙を同封いたしますのでご利用下さい。教会の活動は、皆さまの貴重な献金で成り立っています。



献金報告 (7.2.24〜7.3.21)

○参堂献金 十一万二千三百九十一円

○感謝献金

匿名

佐藤幾久子

伊藤治男、

荻生征子

金子晏生



○聖名祭感謝献金

山本理恵子、昆守

熊谷真裕美

○埋葬献金

伊藤智子(伊藤治男兄)

本多弘子(本多真敏兄)

○パニヒダ献金

本多弘子(本多真敏兄 40日祭)

本多弘子、大立目謙直、岡崎た

い子

本多弘明、大立目潤子、早坂盤

佐治美智子、荻生征子

大窪仁、山本理恵子、山田喜美

雄、永元道子

千葉温、岡崎雄俊

佐々木隆、岡崎澄之

※順不同・敬称略

4月行事・奉事予定

◇ 定例執事会 1日(火) 14時

4日(金) アカフイスト早課 (17時)
5日(土) アカフイスト聖体礼儀 (9時)

5日(土) 徹夜祷はお休み 第8調
6日(日) エジプトのマリヤの主日

代式祈禱 (10時30分)

書札 エウレイ 9:11・14
福音 マルコ 10:32・45

◆ 聖堂清掃奉仕の日 枝の準備

5・6日 水口神父白河出張
5日(土) 18時 主日徹夜祷
6日(日) 10時 主日聖体礼儀

6日(日) 中新田正教会・代式祈禱 (10時)

6日(日) 祭日徹夜祷 (17時)
7日(月) **生神女福音祭聖体礼儀** (9時)

書札 エウレイ 2:11・18
福音 ルカ 1:24・38

8日(火) 晩堂大課 (17時)
9日(水) 時課・先備聖体礼儀 (9時)

11日(金) ラザリのスポタ早課 (17時)
12日(土) ラザリのスポタ聖体礼儀 (9時)

12日(土) 祭日徹夜祷 祭日調 (17時)
13日(日) **聖枝祭聖体礼儀** (10時)

書札 フイリツプ 4:4・9
福音 イオアン 12:1・18

▼ 合同洗礼(8時30分)

※ 聖名日・入学進級モレーベン

■ 月例パニヒダ／婦人会・方舟会



【受難週の奉事】

14日(月) 時課・先備聖体礼儀 (9時)

15日(火) 晩堂大課 (17時)
時課・先備聖体礼儀 (9時)

16日(水) 晩堂大課 (17時)
時課・先備聖体礼儀 (9時)

17日(木) 早課 (17時)
聖大木曜日聖体礼儀 (9時)

18日(金) 早課 (17時)
早課II十二福音 (15時)
晩課II就寝聖像捧出 (17時)

19日(土) 早課II主の葬り (17時)
聖入スポタ聖体礼儀 (9時)

19日(土) **復活大祭**

夜半課(十字行)・早課・一時課・聖体礼儀

書札 使徒行実 1:1・8
福音 イオアン 1:1・17

◎ 休息・軽食

◎ 休息・軽食

25・26日 水口神父中新田巡回

25日(金) 17時 復活大祭早課
26日(土) 10時 復活大祭聖体礼儀

26日(土) 主日徹夜祷 (調は五旬経に依る) (17時)
27日(日) フォオマの主日聖体礼儀 (10時)

書札 使徒行実 5:12・20
福音 イオアン 20:19・31

◇ ミ講話

28日(月) 大パニヒダ (10時) 【墓地祈禱】

29日(火) 【墓地祈禱】
みやぎ霊園／葛岡霊園
北山霊園／いずみ墓園

5月

3・4日 水口神父白河巡回
4日(月) 10時 復活大祭聖体礼儀

4月の集会は以下のように予定いたします。

【聖堂清掃奉仕】→6(日)

【聖歌隊練習】→6(日)[発声練習]
13(日)

【婦人会／方舟会】→13(日)

【復活祭の卵染め】→18(金)

【墓地祈禱】→28(月)、29(火)

【伝道会18時～】9(水)、23(水)
2(水)と16(水)と30(水)はお休み

